

# Apple Remote Desktopを使用したmacOSでのUmbrella Roamingクライアントの導入

## 内容

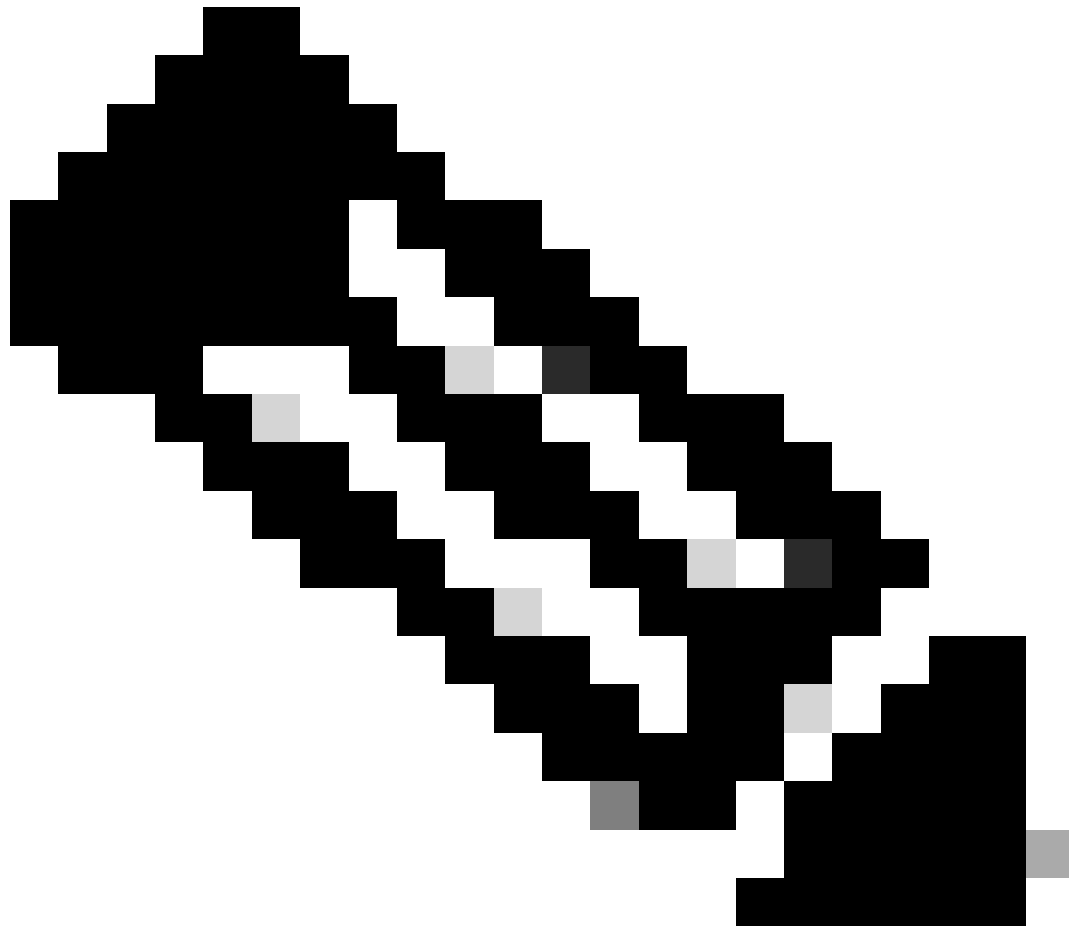
---

## はじめに

このドキュメントでは、Apple Remote Desktop(ARD)を使用してUmbrellaローミングクライアントをmacOSコンピュータに導入する方法について説明します。

## 前提条件

- ターゲットワークステーションを管理するには、Apple Remote Desktop(ARD)をセットアップしておく必要があります。
- UmbrellaダッシュボードからmacOS用の最新のUmbrellaローミングクライアントをダウンロードします。古いバージョンを使用しないでください。
  1. Umbrellaダッシュボードで、Identities > Roaming Computerの順に移動します。
  2. 依存症をクリックします。
  3. Mac OS X ClientでDownloadをクリックします。
- ダウンロードしたzipファイルを解凍します。次のように表示されます。
  - OrgInfo.plist : ローミングコンピュータを組織の一部として識別します。
  - RoamingClient\_MAC\_1.4.5.pkg ( またはそれ以降 ) :ARD経由で導入するためのインストールパッケージ。



注：インストールパッケージをサイレントにして、アイコンがメニューバーに表示されないようにすることができます。詳細については、次のサイトを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/umbrella/series.html>

---

## ステージ1 - OrgInfo.plistをターゲットワークステーションにコピーする

1. ARDで、ターゲットにするコンピュータを選択します。1台のワークステーションで導入をテストします。
2. 選択したマシンのnewCopytaskを設定します。
3. 解凍したフォルダからOrgInfo.plistfileを選択します。
4. リモートマシンの宛先パスを次のように設定します。

/Library/Application Support/OpenDNSローミングクライアント

5. コピー・タスクを実行します。ファイルは数秒以内にコピーされます。

## ステージ2 – ターゲットワークステーションへのパッケージファイルの導入

1. ARDで、展開したフォルダからRoamingClient\_MAC\_1.4.5.pkgfileを選択します。
2. 選択したマシンのnewInstalltaskを設定します。変更する特定の理由がない限り、デフォルトのインストールオプションを使用します。
3. Installをクリックします。十分な権限がある場合は、進行状況バーが表示され、インストールが実行されます。
4. インストール時間は、ターゲットワークステーションの速度と場所によって異なります。

## トラブルシューティング

- インストールエラーが発生した場合は、thatOrgInfo.plistwas copied to the correct folder in Stage 1を確認します。
- 「Validating packages,」というエラーメッセージが表示された場合、OrgInfo.plistwas not copied successfully to the correct location.

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。